

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日 更新

事務事業名		施設維持管理事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展				
総合計画体系	政策	1	自治の健幸	所属部	議会事務局	課長名	九重 浩光	
	施策	2	行政経営の推進・改革	所属課	議会事務局	担当者名	合林 利晃	
	業務分野	10	開かれた議会の推進	所属班	議会班	(内線)	1311	
予算科目		会計一般	款 1	項 1	目 1	事業連番	10932	法令根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	議会運営に対応するため、議会施設・設備機器の維持管理、保守点検を行う事業である。経年状況や劣化状況等を加味し、施設の更新や設備機器の更新を適宜行っている。 また、保守としては、職員による点検調整に加えて、業者による本会議場の映像・音響システムの定期保守点検(メンテナンスによる年4回の点検調整、リース期間：R5.11～R10.11)、各委員会室の録音機器の定期保守点検(委託による年1回の点検調整)を実施している。 各委員会室の録音機器については、前回の設備機器更新よりやがて10年が経過し、現状として大きな不具合は発生していないものの、ユニットごとのマイク音量に差が出るなど、各種調整や更改が必要となっている。 また、機器以外の付帯設備(傍聴席・議員席・執行部席の椅子等)についても、庁舎建築時等から導入しているものであり、数十年が経過しているため、適宜修繕・入替等を行う必要がある。
【業務の流れ】	年度当初に委員会室等の録音機器点検業務の委託契約を行い、6月定例会前を目安に点検を行う。不具合が見つかった場合は、補正予算等で予算措置をして、修繕・入れ替え等を実施する。
【主な予算費目】	委託料・使用料及び賃借料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

本会議場の映像・音響システムについて、各定例会前の点検と微調整を実施した。  
各委員会室、全員協議会室の音響設備について保守点検を実施した。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

委員会室等の録音機器の点検を1回実施予定。  
本会議場の映像音響機器のリース料の支払い。  
機器の劣化状況等を加味し、更新計画等の検討を行う。

③予算の主な増減の理由

人件費高騰に伴う委員会室等の機器保守点検委託料の増

成果指標

会議中の機器トラブルの件数

(単位)

件

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
会議中の機器トラブルの件数	件	0	0	0	1	0	0	0	0
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	385	8,558	7,571	7,569	7,823	7,823	7,823
(A) 事業費計	千円	385	8,558	7,571	7,569	7,823	7,823	7,823	7,823

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

本会議場の映像・音響機器について毎定例会前に点検を行っていたが、電源機器の初期不良による映像トラブルが1件あった。しかしながら、保守契約を行っていたことにより迅速にトラブル解消ができた。今後も機器トラブルの発生抑止・緊急時の円滑な対応が行える体制を保っていく。

(4)今後の事業の方向性

廃止  縮小  事業のやり方改善  現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)